

表48 自殺企図歴の有無と現在の心の病気による受診歴

	現在、心の病気					
	あり		なし		合計	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
自殺企図あり	5▲	(0.2)	44▽	(2.1)	49	(2.3)
自殺企図なし	20▽	(0.9)	2065▲	(96.8)	2,085	(97.7)
合計	25	(1.2)	2,109	(98.8)	2,134	(100.0)

$\chi^2(1) = 35.341$, $p < .01$

(▲有意に多い、▽有意に少ない、 $p < .05$)

表49 自殺企図歴の有無と過去1年における心の病気による受診歴

	過去1年以内					
	あり		なし		合計	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
自殺企図あり	7▲	(0.3)	42▽	(2.0)	49	(2.3)
自殺企図なし	48▽	(2.2)	2041▲	(95.5)	2,089	(97.7)
合計	55	(2.6)	2,083	(97.4)	2,138	(100.0)

$\chi^2(1) = 27.452$, $p < .01$

(▲有意に多い、▽有意に少ない、 $p < .05$)

表50 自殺企図歴の有無と自殺念慮の頻度

	死にたいと思った									
	頻繁に思った		時々思った		あまり思わなかった		全く思わなかった		合計	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
自殺企図あり	19▲	(0.9)	21▲	(1.0)	4	(0.2)	5▽	(0.2)	49	(2.3)
自殺企図なし	21▽	(1.0)	164▽	(7.7)	399	(18.6)	1509▲	(70.4)	2,093	(97.7)
合計	40	(1.9)	185	(8.6)	403	(18.8)	1,514	(70.7)	2,142	(100.0)

$\chi^2(3) = 462.770$, $p < .01$

(▲有意に多い、▽有意に少ない、 $p < .05$)

表51 自殺企図歴の有無とストレス関連要因

	自殺企図	N	平均値	(SD)	t 値	自由度	有意確率
心理的な 仕事の量的負担	あり	49	5.7	(2.27)	-2.875	2100	0.004
	なし	2053	6.6	(2.15)			
仕事のコントロール	あり	49	8.5	(2.61)	3.470	50	0.001
	なし	2050	7.2	(2.17)			
技能の活用	あり	49	2.2	(0.90)	-4.364	2116	0.000
	なし	2069	2.7	(0.89)			
対人関係	あり	49	7.1	(2.19)	-4.907	50	0.000
	なし	2044	8.6	(1.82)			
職場環境	あり	49	1.9	(1.15)	-3.933	2123	0.000
	なし	2076	2.5	(1.01)			
働きがい	あり	49	2.6	(1.00)	2.195	50	0.033
	なし	2084	2.3	(0.82)			
上司サポート	あり	47	8.5	(2.64)	2.484	47	0.017
	なし	2043	7.6	(2.16)			
CES-D	あり	40	25.4	(12.11)	6.280	40	0.000
	なし	1800	13.3	(8.28)			
仕事の満足	あり	49	2.8	(1.00)	2.867	49	0.006
	なし	2079	2.4	(0.81)			
家庭生活の満足	あり	49	2.5	(0.94)	3.870	50	0.000
	なし	2074	2.0	(0.81)			

別添資料 1

1. 職場・仕事について

A. あなたの事業所は次のどれに該当しますか。

- <①農業 ②林業 ③漁業 ④鉱業 ⑤建設業 ⑥製造業 ⑦電気・ガス・熱共有・水道業 ⑧情報通信業
⑨運輸業 ⑩卸売・小売業 ⑪金融・保険業 ⑫不動産業 ⑬飲食店・宿泊業 ⑭医療・福祉 ⑮教育・学習支援業
⑯複合サービス業 ⑰サービス業(他に分類されないもの) ⑱公務(他に分類されないもの) ⑲分類不能の産業>

B. あなたの事業所の従業員(正社員)の人数を教えてください。

- <①10人未満 ②10~19人 ③20~29人 ④30~39人 ⑤40~49人 ⑥50~99人
⑦100~299人 ⑧300~499人 ⑨500~999人 ⑩1000人以上>

C. あなたの会社全体の従業員(正社員)の人数はおよそ何人ですか。 およそ()人

D. あなたの所属部署を教えてください。 ①健康管理部署 ②総務 ③その他()

E. あなたの職種を教えてください。

- <①専門的・技術的職業 ②管理的職業 ③事務的職業 ④販売の職業 ⑤サービスの職業 ⑥保安の職業
⑦農林漁業の職業 ⑧運輸・通信の職業 ⑨生産工程・労務の職業 ⑩分類不能の職業>

2. 心の健康づくりについて

A. あなたの職場では従業員の心の健康づくり(メンタルヘルス対策)が必要だと思いますか

- ①必要と思う ②必要とは思わない ③わからない

B. あなたの職場では従業員の心の健康づくり(メンタルヘルス対策)に取り組んでいますか

- ①取り組んでいる ②取り組んでいない ③検討(準備)中

C. 取り組んでいない場合、その理由はなんですか。主なものを2つを選んで○をつけてください。

- ①取り組み方がわからない ②経済的理由 ③今まで必要がなかった ④適当な担当者(専門スタッフ等)がいない
⑤時間的余裕がない ⑥事業主に關心がない ⑦従業員に關心がない
⑧その他(具体的に)

D. あなたの事業所では、過去1年間に、心の健康問題での相談や問題事例がありましたか

- ①あった()件 ②なかった ③把握できていない

E. あなたの事業所では、現在、心の健康問題(病気)で休んでいる従業員はいますか

- ①いる()人 ②いない ③把握できていない

F. あなたの事業所では、過去1年間に、自殺や自殺未遂を起こした従業員がいましたか

- ①自殺した()人 ②自殺未遂をした()人 ③いない ④把握できていない

G. 心の健康問題で休まれた従業員の復職について何か社内のガイドラインがありますか

- ①ある ②慣例としてガイドラインに相当するものがある ③ない ④検討中である
⑤その他(具体的に:)

H. 心の健康問題で休まれた従業員の復職について何か問題を生じたことがありますか

- ①ある(具体的に:) ②ない

I. 以下の項目において、内容をご存知のものはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①事業場における労働者の心の健康づくりのための指針(平成12年8月 厚生労働省)
②職場における自殺の予防と対応(平成13年12月 厚生労働省)
③心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(平成16年10月 厚生労働省)
④労働者の心の健康の保持増進のための指針(平成18年3月 厚生労働省)
⑤過重労働に対する労働安全衛生法改正(平成18年4月施行)

J. 以下の項目において、実際に利用されているものはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①事業場における労働者の心の健康づくりのための指針(平成12年8月 厚生労働省)
②職場における自殺の予防と対応(平成13年12月 厚生労働省)
③心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(平成16年10月 厚生労働省)
④労働者の心の健康の保持増進のための指針(平成18年3月 厚生労働省)

K. 以下の項目において、詳しく知りたいものはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①事業場における労働者の心の健康づくりのための指針(平成12年8月 厚生労働省)
②職場における自殺の予防と対応(平成13年12月 厚生労働省)
③心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(平成16年10月 厚生労働省)
④労働者の心の健康の保持増進のための指針(平成18年3月 厚生労働省)
⑤過重労働に対する労働安全衛生法改正(平成18年4月施行)

L. 次の機関でメンタルヘルスの相談を行っていることをご存知ですか

- ①地域産業保健センター (i 知っている ii 利用したことがある iii 利用予定 iii 知らない)
②都道府県産業保健推進センター(i 知っている ii 利用したことがある iii 利用予定 iii 知らない)

ご協力、ありがとうございました。

別添資料 2

1. 性・年齢・生活のことなど

- A. 性別・年齢を教えてください。 性別<①男性 ②女性> 年齢()歳
- B. 現在の同居者を教えてください。 <①配偶者 ②子ども(人) ③いない>
- C. 最終学歴を教えてください。 <①中学校 ②高校 ③短大・専門学校 ④大学 ⑤大学院>

2. 仕事のことなど

A. あなたの事業所は次のどれに該当しますか。

- <①農業 ②林業 ③漁業 ④鉱業 ⑤建設業 ⑥製造業 ⑦電気・ガス・熱共有・水道業 ⑧情報通信業
⑨運輸業 ⑩卸売・小売業 ⑪金融・保険業 ⑫不動産業 ⑬飲食店・宿泊業 ⑭医療・福祉 ⑮教育・学習支援業
⑯複合サービス業 ⑰サービス業(他に分類されないもの) ⑱公務(他に分類されないもの) ⑲分類不能の産業>

B. あなたの事業所の従業員(正社員)の人数を教えてください。

- <①10人未満 ②10~19人 ③20~29人 ④30~39人 ⑤40~49人 ⑥50~99人
⑦100~299人 ⑧300~499人 ⑨500~999人 ⑩1000人以上>

C. あなたの会社全体の従業員(正社員)の人数はおよそ何人ですか。 およそ()人

D. 現在の職種を教えてください。

- <①専門的・技術的職業 ②管理的職業 ③事務的職業 ④販売の職業 ⑤サービスの職業 ⑥保安の職業
⑦農林漁業の職業 ⑧運輸・通信の職業 ⑨生産工程・労務の職業 ⑩分類不能の職業>

E. 職位を教えてください。 <①一般 ②係長級・主任 ③課長級 ④部長級 ⑤役員>

F. 現在の会社での勤続年数を教えてください。 約(年 ヶ月)

G. 1日の勤務時間を教えてください。(日によって違う場合は、一番頻度の多い時間をお答えください)

約(時間)

H. 夜勤勤務とシフト勤務の有無について教えてください。 夜勤<①あり ②なし>、シフト<①あり ②なし>

I. 最近1ヶ月の残業時間と休日出勤について教えてください。 残業時間()時間、休日出勤()日

J. 採用形態を教えてください。 <①新卒採用 ②中途採用 ③契約社員 ④派遣社員 ⑤請負社員 ⑥その他>

3. あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
・ 非常にたくさんの仕事をしなければならぬ	1	2	3	4
・ 時間内に仕事が処理しきれない	1	2	3	4
・ 一生懸命働かなければならぬ	1	2	3	4
・ かなり注意を集中する必要がある	1	2	3	4
・ 高度の知識や技術が必要ならぬ仕事だ	1	2	3	4
・ 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならぬ	1	2	3	4
・ からだを大変よく使う仕事だ	1	2	3	4
・ 自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
・ 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	1	2	3	4
・ 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1	2	3	4
・ 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	1	2	3	4
・ 私の部署内で意見の食い違いがある	1	2	3	4
・ 私の部署と他の部署とほうまが合わない	1	2	3	4
・ 私の職場の雰囲気は友好的である	1	2	3	4
・ 私の職場の作業環境(騒音, 照明, 温度, 換気など)はよくない	1	2	3	4
・ 仕事の内容は自分にあっている	1	2	3	4
・ 働きたいのある仕事だ	1	2	3	4

4. あなたの周りの方々についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	非常に	かなり	多少	全くない
A. 次の人たちはどれくらい気軽に話ができますか？				
1. 上司	1	2	3	4
2. 職場の同僚	1	2	3	4
3. 配偶者, 家族, 友人等	1	2	3	4
B. あなたが困った時, 次の人たちはどのくらい頼りになりますか？				
4. 上司	1	2	3	4
5. 職場の同僚	1	2	3	4
6. 配偶者, 家族, 友人等	1	2	3	4
C. あなたの個人的な問題を相談したら, 次の人たちはどのくらい聞いてくれますか？				
7. 上司	1	2	3	4
8. 職場の同僚	1	2	3	4
9. 配偶者, 家族, 友人等	1	2	3	4

5. この1週間のあなたのからだや心の状態についてお聞きします。最もあてはまるものに○を付けてください。

	1日未満	1~2日	3~4日	5日以上
・普段は何でもないことがわずらわしい。	1	2	3	4
・食べたくない。食欲が落ちた。	1	2	3	4
・家族や友達からはげましてもらっても、気分が晴れない。	1	2	3	4
・他の人と同じ程度には、能力があると思う。	1	2	3	4
・物事に集中できない。	1	2	3	4
・ゆううつだ。	1	2	3	4
・何をするのも面倒だ。	1	2	3	4
・これから先のことについて積極的に考えることができる。	1	2	3	4
・過去のことについてくよくよ考える。	1	2	3	4
・何か恐ろしい気持がする。	1	2	3	4
・なかなか眠れない。	1	2	3	4
・生活について不満なくすごせる。	1	2	3	4
・普段より口数が少ない。口が重い。	1	2	3	4
・一人ぼっちでさびしい。	1	2	3	4
・皆がよそよそしいと思う。	1	2	3	4
・毎日が楽しい。	1	2	3	4
・急に泣きたすことがある。	1	2	3	4
・悲しいと感じる。	1	2	3	4
・皆が自分を嫌っていると感じる。	1	2	3	4
・仕事が手につかない。	1	2	3	4

7. 満足度について

	満足	まあ満足	やや不満足	不満足
・仕事に満足だ	1	2	3	4
・家庭生活に満足だ	1	2	3	4

8. 生活習慣について

A. 現在、タバコを吸いますか。 <①吸う→()本/日 ②吸わない>

B. 飲酒習慣(週1日以上飲酒)はありますか。

<①ある→()日/週、飲む日の平均飲酒量()単位 ②ない>

* 500ml缶ビールなら1本、日本酒なら1合を1単位とします

C. これまで次のようなことがありましたか。

- ・飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか。 <①はい ②いいえ>
- ・他人があなたの飲酒を批判するので気にさわったことがありますか。 <①はい ②いいえ>
- ・自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか。 <①はい ②いいえ>
- ・神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために「迎え酒」をしたことがありますか。 <①はい ②いいえ>

D. 1日の平均的な就寝時間、起床時間、睡眠時間を教えてください。

就寝時間()時、起床時間()時、睡眠時間()時間

E. 睡眠時間が不足していると感じますか。

<①非常に感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④全く感じない>

F. 1日の食事回数を教えてください。

<①1回 ②2回 ③3回 ④その他>

G. 夜食をとりますか。

<①とる ②とらない ③決まっていない>

H. 運動習慣はありますか。 <①ある⇒()回/週 内容は()() ②ない>

J. 悩みなどの相談相手はいますか。

<①いる⇒人数は約()人。具体的には()()() ②いない>

* (例:配偶者 親子 会社の同僚 上司 友人等)

K. ストレス解消法がありますか。

<①ある⇒具体的には()() ②ない>

L. 現在、心の病気(うつ病など)でクリニックや病院にかかっていますか。 <①かかっている ②かかっていない>

M. 過去1年以内に、心の病気(うつ病など)でクリニックや病院にかかったことがありますか。

<①かかったことがある ②かかったことがない>

N. 過去1年以内に、死にたいと思ったことはありますか。

<①頻繁に思った ②ときどき思った ③あまり思わなかった ④全く思わなかった>

O. 過去1年以内に、実際に自殺をしようとしたことがありますか。

<①あった ②なかった>

ご協力、ありがとうございました。

平成18年度厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）
分担研究報告書

大都市圏における大規模事業場を対象とした

自殺予防対策に関する調査研究

－労働者の自殺に対する講習会形式での介入研究－

分担研究者 井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学・助教授

研究要旨

労働者の自殺予防対策を進めていく際には、対象（個人および事業場）の特性に応じて適切なモデルを選択すべきである。適切なモデル選択における知見として、事業場の規模別（大規模事業場・中小零細事業場）、地域特性別（大都市圏・地方の中小都市）に応じた自殺予防対策モデルの検証が必要である。そこで本分担研究では、大都市圏における大規模事業場を対象とした自殺予防対策モデルの検証を行う。本研究では、3年計画の1年目としてベースライン調査を計画した。

第1回調査票の送付とともに介入研究参加を打診する。「事前調査→介入（講習会）→事後調査」という形式で、職場の精神保健への介入効果を調査する。介入は講習会とし、①健康管理担当者などを対象にうつ病の理解や職場における精神保健体制の構築に関する講習会、②労働者を対象にしたうつ病の啓蒙やストレス発散などのセルフケアを中心とした講習会の2種類を実施する予定である。

A. 研究目的

わが国においては、平成10年に労働者の自殺が急増して以来、一向に減少する傾向が見えない。このため労働者の自殺予防対策の確立は緊急の行政課題であると考えられる。また精神障害および自殺の労災事案は顕著に増加しており補償行政においても、自殺予防対策は非常に重要な課題であると考えられる。

自殺対策を進めていく上では画一的なプログラムでは十分に効果が得られない可能性が高く、可及的に、対象（個人および事業場）の特性に応じて適切なモデルを選択すべきである。適切なモデル選択における知見として、事業場の規模別（大規模事業場・中小零細事業場）、地域特性別（大都市圏・地方の中小都市）に応じた自殺予防対策モデルの検証が必要である。

そこで本分担研究では、大都市圏における大規模事業場を対象とした自殺予防対策モデルの検証を行う。本研究では、3年計画の1年目としてベースライン調査を計画した。

B. 研究方法

(1) 調査対象

大阪産業保健推進センターに登録されている従業員300人以上の約1248事業所。

(2) 介入方法

第1回調査票の送付とともに介入研究参加を打診する（別添資料1）。「事前調査→介入（講習会）→事後調査」という形式で、職場の精神保健への介入効果を調査する。

介入は講習会とし、①健康管理担当者などを対象にうつ病の理解や職場における精

神保健体制の構築に関する講習会（平成19年5月26日、6月9日の2回）、②労働者を対象にしたうつ病の啓蒙やストレス発散などのセルフケアを中心とした講習会（出前講座）の2種類を実施する。

(3) 調査票

事業場用調査票の主な内容は、以下の通りである（別添資料2）。健康管理担当者に回答を依頼した。

- ①事業場の業種・従業員数
- ②回答者の所属部署・職種
- ③事業場におけるメンタルヘルス対策の実施状況
- ④事業場におけるメンタルヘルス問題の現状
- ⑤メンタルヘルスに関連する法改正や指針の利用および周知
- ⑥メンタルヘルスの相談受付機関の利用の有無

労働者用調査票の主な内容は、以下の通りである（別添資料3）。

- ①性別・年齢・同居者
- ②事業場の業種・従業員数
- ③職種・職位・勤務状況・勤続年数・採用形態
- ④職場ストレッサー・ソーシャルサポート・満足度（職業性ストレス簡易調査票¹⁾）
- ⑤ストレス反応（CES-D²⁾）
- ⑥喫煙習慣・飲酒習慣・睡眠・食事・運動習慣
- ⑦飲酒による問題の有無（CAGE³⁾）
- ⑧悩みの相談相手
- ⑨ストレス解消法
- ⑩心の病気による受診歴（現在・過去 1

年間)

⑪自殺念慮・自殺企図歴（過去1年間）

(4) 介入の準備

講習会のスムーズな運営のために、大阪産業保健推進センターへの共催依頼、大阪労働局、大阪府医師会、大阪精神科診療所協会への後援依頼を行い、内諾を得た。

C. 予想される研究

講習会受講事業所における精神保健体制の充実、労働者の精神的健康の改善。役に立つ講演内容の例示。

D. 考察

平成17年度に大阪産業保健推進センターと共同で行なった従業員300人以上の大阪府下1248事業所への質問紙法による検討では、回答を得た468事業所（回収率37.5%）での精神疾患病名による休職者の5年間の推移では、平成12年度から平成16年度の5年間に精神疾患病名で休職した事例数は3.5倍に増加し、そのなかでうつ病・抑うつ状態という診断書で休職した事例数は4.9倍に増加していた。また、回答を得た事業所の15%で過去5年間に労働者の自殺が認められていたという³⁾。

このため、大阪府下の事業所において、勤労者の心の健康に関する意識や状態等を把握し、職域における自殺予防の推進は欠かせないものであろう。労働者の自殺そのものへの介入は困難であるため、その大きな原因である「うつ状態」などについて介入効果を検討し、労働者の自殺予防に役立

たせたい。

E. 研究発表

1. 論文発表
該当せず。

2. 学会発表
該当せず。

F. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
該当せず。

2. 実用新案登録
該当せず。

3. その他
該当せず。

G. 引用文献

1) 酒井國男ら. 大阪産業保健推進センター 平成17年度調査研究「休職からの職場復帰体制の現実と課題—企業へのアンケート調査から—」報告書, 2006.

別添資料1

平成19年度 勤労者自殺予防精神保健活動研修会のご案内

1 目的

平成10年に勤労者の自殺が急増して以来、減少傾向は見られず、勤労者の自殺予防対策は喫緊の課題である。このため平成18年度から3年計画で、厚生労働科学研究「労働者の自殺予防に関する介入研究」を実施することとなった。この研究事業の一環として、関係者が勤労者自殺予防精神保健活動の実施に資する知識と技術を習得することを目的として開催する。

2 主催

厚生労働科学研究「労働者の自殺予防に関する介入研究」研究班
(分担研究者 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 井上幸紀)

3 共催および後援

共催：大阪産業保健推進センター
後援：大阪労働局 大阪府医師会 大阪精神科診療所協会

4 開催日程（下記2回の内容は同一です）

第1回：平成19年5月26日（土）12：30～16：50（受付12：00～）
第2回：平成19年6月9日（土）12：30～16：50（受付12：00～）

5 会場

大阪市立大学医学部学舎（大学病院東隣の建物です）4階 大講義室
大阪市阿倍野区旭町1-4-3（電話は御使用いただけません）

6 対象者

職域・地域で勤労者の精神保健に携わる看護師、保健師、臨床心理士等

7 内容（予定）

午前12時30分～午後1時30分

講義「今後のメンタルヘルス対策について

～改正労働安全衛生法及び改正メンタルヘルス指針を踏まえて～

講師 大阪産業保健推進センター副所長 本多 耕造

午後1時40分～午後3時10分

講義「職場でよく遭遇するこころの病～うつ病やアルコール依存症を中心に～」

講師 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 岩崎 進一

午後3時20分～午後4時50分

講義「職場における精神保健体制の構築と相談の進め方（仮題）」

講師 産業精神保健研究所所長 島 悟

8 定員

各回150名（先着順）

9 参加費

無料

平成19年度勤労者自殺予防精神保健活動研修会
参加申込書

参加希望日時（どちらかに○をお付け下さい）

（ ）第1回（5月26日） （ ）第2回（6月9日）

所属：

電話/FAX（市外局番から）：Tel FAX

参加者氏名（職種）： （ ）

参加者氏名（職種）： （ ）

Faxにてお申し込み下さい。送信票は不要です。

申込締切：平成19年5月10日

担当： 大阪産業保健推進センター 特別相談員
厚生労働科学研究「労働者の自殺予防に関する介入研究」研究班 班員
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学
井上 幸紀

Fax 06-6636-0439

* 会場に駐車場はございませんので、公共交通機関の利用をお願いいたします。

*できるだけ1事業所2人以内でお申し込みください。

*定員を超え、お断りするときのみ、ご連絡いたします。

ご利用ください

こころの健康出前講座

ストレス社会といわれる現代、私たちは日々不安や緊張、失敗や挫折等様々なストレスにさらされています。このような中で、心の健康を損なう人が年々増えており、中でも「うつ病」は15人に1人が生涯に一度は経験するといわれています。

このため、大阪産業保健推進センターでは、うつ病対策などに取り組んでいます。

うつ病対策をはじめとした心の健康づくりを行うには、正しい知識と対応が大切です。

方法

事業所やその団体の従業員・衛生管理者等のための研修会に出向きます。

●事業所やその団体（参加人数が概ね50人以上）が開催する研修会等に講師（医師など）が出向きます。

●実施日は、平成19年7月～19年9月までの期間で、詳細は講師等と調整させていただきます。

内容

●うつ病対策を中心とした心の健康づくりについて説明いたします。

●講義の時間は、1時間程度です。

●参加者全員にこころの健康に関する調査票への記入に御協力をお願いします。

申込みについて

●希望する事業所や団体は、裏面申込書により申込み受付期間内に下記へFAXでお申し込みください。（原則として開催希望日の1ヶ月前までに申し込むこと。また開催日が決まっていない場合は、開催予定時期を記入の上、予約申込みを行うこと。その後講師等と詳細を調整させていただきます。）

講座開催年月日： 平成19年7月～9月開催分

申込み受付期間： 平成19年8月末日まで

●講師料等の費用は一切不要です。（会場費等についてはご負担願います）

●受付後、すみやかに申込み事業所・団体と連絡をとり実施日時や運営方法について決定します。

●講師との調整が困難な場合や、申込みが多数に至った場合は、お断りすることがあります。

●また、収益を目的としたり、事業目的に合わない集会についてはお断りすることがありますのでご了承ください。

<問い合わせ・申込み先>

大阪産業保健推進センター 特別相談員

厚生労働科学研究「労働者の自殺予防に関する介入研究」研究班 班員

大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

担当者： 井上 幸紀

Fax 06-6636-0439

様式 1

平成 19 年 月 日

こころの健康出前講座申込書

事業所等の名称：

連絡先：

担当者氏名（ふりがな）：

電話番号（市外局番から）：

Fax番号（市外局番から）：

E-mail アドレス：

開催希望日時：

会場名：

会場所在地（電話番号も）：

(TEL)

会合の名称：

参加予定人員：

- 必要事項を記入し、FAXにて下記までお申し込み下さい。
- 申し込み受付後、担当者より御連絡し、実施の可否、開催日時などについて調整させていただきます。

〈申込み先〉

大阪産業保健推進センター 特別相談員

厚生労働科学研究「労働者の自殺予防に関する介入研究」研究班 班員

大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

担当者： 井上

Fax 06-6636-0439

別添資料2

1. 職場・仕事について

A. あなたの事業所は次のどれに該当しますか。

- <①農業 ②林業 ③漁業 ④鉱業 ⑤建設業 ⑥製造業 ⑦電気・ガス・熱共有・水道業 ⑧情報通信業
⑨運輸業 ⑩卸売・小売業 ⑪金融・保険業 ⑫不動産業 ⑬飲食店・宿泊業 ⑭医療・福祉 ⑮教育・学習支援業
⑯複合サービス業 ⑰サービス業(他に分類されないもの) ⑱公務(他に分類されないもの) ⑲分類不能の産業>

B. あなたの事業所の従業員(正社員)の人数を教えてください。

- <①10人未満 ②10～19人 ③20～29人 ④30～39人 ⑤40～49人 ⑥50～99人
⑦100～299人 ⑧300～499人 ⑨500～999人 ⑩1000人以上>

C. あなたの会社全体の従業員(正社員)の人数はおよそ何人ですか。 およそ()人

D. あなたの所属部署を教えてください。 ①健康管理部署 ②総務 ③その他()

E. あなたの職種を教えてください。

- <①専門的・技術的職業 ②管理的職業 ③事務的職業 ④販売の職業 ⑤サービスの職業 ⑥保安の職業
⑦農林漁業の職業 ⑧運輸・通信の職業 ⑨生産工程・労務の職業 ⑩分類不能の職業>

2. 心の健康づくりについて

A. あなたの職場では従業員の心の健康づくり(メンタルヘルス対策)が必要だと思いますか

- ①必要と思う ②必要とは思わない ③わからない

B. あなたの職場では従業員の心の健康づくり(メンタルヘルス対策)に取り組んでいますか

- ①取り組んでいる ②取り組んでいない ③検討(準備)中

C. 取り組んでいない場合、その理由はなんですか。主なものを2つを選んで○をつけてください。

- ①取り組み方がわからない ②経済的理由 ③今まで必要がなかった ④適当な担当者(専門スタッフ等)がいない
⑤時間的余裕がない ⑥事業主に関心がない ⑦従業員に関心がない
⑧その他(具体的に)

D. あなたの事業所では、過去1年間に、心の健康問題での相談や問題事例がありましたか

- ①あった()件 ②なかった ③把握できていない

- E. あなたの事業所では、現在、心の健康問題(病気)で休んでいる従業員はいますか
①いる()人 ②いない ③把握できていない
- F. あなたの事業所では、過去1年間に、自殺や自殺未遂を起こした従業員がいましたか
①自殺した()人 ②自殺未遂をした()人 ③いない ④把握できていない
- G. 心の健康問題で休まれた従業員の復職について何か社内のガイドラインがありますか
①ある ②慣例としてガイドラインに相当するものがある ③ない ④検討中である
⑤その他(具体的に:)
- H. 心の健康問題で休まれた従業員の復職について何か問題を生じたことがありますか
①ある(具体的に:) ②ない
- I. 以下の項目において、内容をご存知のものはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
①事業場における労働者の心の健康づくりのための指針(平成12年8月 厚生労働省)
②職場における自殺の予防と対応(平成13年12月 厚生労働省)
③心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(平成16年10月 厚生労働省)
④労働者の心の健康の保持増進のための指針(平成18年3月 厚生労働省)
⑤過重労働に対する労働安全衛生法改正(平成18年4月施行)
- J. 以下の項目において、実際に利用されているものはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
①事業場における労働者の心の健康づくりのための指針(平成12年8月 厚生労働省)
②職場における自殺の予防と対応(平成13年12月 厚生労働省)
③心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(平成16年10月 厚生労働省)
④労働者の心の健康の保持増進のための指針(平成18年3月 厚生労働省)
- K. 以下の項目において、詳しく知りたいものはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
①事業場における労働者の心の健康づくりのための指針(平成12年8月 厚生労働省)
②職場における自殺の予防と対応(平成13年12月 厚生労働省)
③心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(平成16年10月 厚生労働省)
④労働者の心の健康の保持増進のための指針(平成18年3月 厚生労働省)
⑤過重労働に対する労働安全衛生法改正(平成18年4月施行)
- L. 次の機関でメンタルヘルスの相談を行っていることをご存知ですか
①大阪産業保健推進センター (i 知っている ii 利用したことがある iii 利用予定 iii 知らない)
②大阪府下地域産業保健センター(i 知っている ii 利用したことがある iii 利用予定 iii 知らない)
③府・市、こころの健康センター等(i 知っている ii 利用したことがある iii 利用予定 iii 知らない)

ご協力、ありがとうございました。

別添資料 3

1. 性・年齢・生活のことなど

- A. 性別・年齢を教えてください。 性別<①男性 ②女性> 年齢()歳
- B. 現在の同居者を教えてください。 <①配偶者 ②子ども()人 ③いない>
- C. 最終学歴を教えてください。 <①中学校 ②高校 ③短大・専門学校 ④大学 ⑤大学院>

2. 仕事のことなど

A. あなたの事業所は次のどれに該当しますか。

- <①農業 ②林業 ③漁業 ④鉱業 ⑤建設業 ⑥製造業 ⑦電気・ガス・熱共有・水道業 ⑧情報通信業
⑨運輸業 ⑩卸売・小売業 ⑪金融・保険業 ⑫不動産業 ⑬飲食店・宿泊業 ⑭医療・福祉 ⑮教育・学習支援業
⑯複合サービス業 ⑰サービス業(他に分類されないもの) ⑱公務(他に分類されないもの) ⑲分類不能の産業>

B. あなたの事業所の従業員(正社員)の人数を教えてください。

- <①10人未満 ②10~19人 ③20~29人 ④30~39人 ⑤40~49人 ⑥50~99人
⑦100~299人 ⑧300~499人 ⑨500~999人 ⑩1000人以上>

C. あなたの会社全体の従業員(正社員)の人数はおよそ何人ですか。 およそ()人

D. 現在の職種を教えてください。

- <①専門的・技術的職業 ②管理的職業 ③事務的職業 ④販売の職業 ⑤サービスの職業 ⑥保安の職業
⑦農林漁業の職業 ⑧運輸・通信の職業 ⑨生産工程・労務の職業 ⑩分類不能の職業>

E. 職位を教えてください。 <①一般 ②係長級・主任 ③課長級 ④部長級 ⑤役員>

F. 現在の会社での勤続年数を教えてください。 約()年()ヶ月

G. 1日の勤務時間を教えてください。(日によって違う場合は、一番頻度の多い時間をお答えください)

約()時間

H. 夜勤勤務とシフト勤務の有無について教えてください。夜勤<①あり ②なし>,シフト<①あり ②なし>

I. 最近1ヶ月の残業時間と休日出勤について教えてください。 残業時間()時間,休日出勤()日

J. 採用形態を教えてください。

- <①正社員(新卒採用) ②正社員(中途採用) ③契約社員 ④派遣社員 ⑤請負社員
⑥パート・アルバイト ⑦その他>

3. あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
・ 非常にたくさんの仕事をしなければならない	1	2	3	4
・ 時間内に仕事が処理しきれない	1	2	3	4
・ 一生懸命働かなければならない	1	2	3	4
・ かなり注意を集中する必要がある	1	2	3	4
・ 高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ	1	2	3	4
・ 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	1	2	3	4
・ からだを大変よく使う仕事だ	1	2	3	4
・ 自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
・ 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	1	2	3	4
・ 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1	2	3	4
・ 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	1	2	3	4
・ 私の部署内で意見の食い違いがある	1	2	3	4
・ 私の部署と他の部署とはうまく合わない	1	2	3	4
・ 私の職場の雰囲気は友好的である	1	2	3	4
・ 私の職場の作業環境（騒音，照明，温度，換気など）はよくない	1	2	3	4
・ 仕事の内容は自分にあっている	1	2	3	4
・ 働きがいのある仕事だ	1	2	3	4

4. あなたの周りの方々についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	非常に	かなり	多少	全くない
A. 次の人たちはどれくらい気軽に話ができますか？				
1. 上司	1	2	3	4
2. 職場の同僚	1	2	3	4
3. 配偶者，家族，友人等	1	2	3	4
B. あなたが困った時，次の人たちはどのくらい頼りになりますか？				
4. 上司	1	2	3	4
5. 職場の同僚	1	2	3	4
6. 配偶者，家族，友人等	1	2	3	4
C. あなたの個人的な問題を相談したら，次の人たちはどのくらいきいてくれますか？				
7. 上司	1	2	3	4
8. 職場の同僚	1	2	3	4
9. 配偶者，家族，友人等	1	2	3	4

5. この1週間のあなたのからだや心の状態についてお聞きします。最もあてはまるものに○を付けてください。

	1日未満	1～2日	3～4日	5日以上
・普段は何でもないことがわずらわしい。	1	2	3	4
・食べたくない。食欲が落ちた。	1	2	3	4
・家族や友達からはげましてもらっても、気分が晴れない。	1	2	3	4
・他の人と同じ程度には、能力があると思う。	1	2	3	4
・物事に集中できない。	1	2	3	4
・ゆううつだ。	1	2	3	4
・何をするのも面倒だ。	1	2	3	4
・これから先のことについて積極的に考えることができる。	1	2	3	4
・過去のことについてくよくよ考える。	1	2	3	4
・何か恐ろしい気持がする。	1	2	3	4
・なかなか眠れない。	1	2	3	4
・生活について不満なくすごせる。	1	2	3	4
・普段より口数が少ない。口が重い。	1	2	3	4
・一人ぼっちでさびしい。	1	2	3	4
・皆がよそよそしいと思う。	1	2	3	4
・毎日が楽しい。	1	2	3	4
・急に泣きだすことがある。	1	2	3	4
・悲しいと感じる。	1	2	3	4
・皆が自分を嫌っていると感じる。	1	2	3	4
・仕事が手につかない。	1	2	3	4

7. 満足度について

	満足	まあ満足	やや不満足	不満足
・仕事に満足だ	1	2	3	4
・家庭生活に満足だ	1	2	3	4

8. 生活習慣について

A. 現在、タバコを吸いますか。 <①吸う→ () 本/日 ②吸わない>

B. 飲酒習慣（週1日以上飲酒）はありますか。

<①ある→ () 日/週、飲む日の平均飲酒量 () 単位 ②ない>

* 500ml 缶ビールなら1本、日本酒なら1合を1単位とします